

- 問1 古代メソポタミア文明において編纂されたハンムラビ法典の歴史的な意義について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。

2. ナイル川の氾濫を予測する天文学と結びつけ、農業の時期を厳格に管理することで、神の化身としての王の権威を強化しようとした。

3. カースト制度と呼ばれる厳格な身分秩序を法的に正当化し、宗教的な儀礼を遵守させることで、都市の衛生状態を保とうとした。

4. 身分制度を完全に否定し、すべての人々が法の下で平等であることを宣言することで、市民による民主的な政治を実現しようとした。
- 問2 バチカンのサン・ピエトロ大聖堂の歴史的背景について記されたレポートにおいて、11世紀末から開始されたキリスト教徒による大規模な軍事遠征の目的として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. キリスト教の教義に反する考えを持つ人々を裁判にかけ、信仰の純粋性を守ること

2. シルクロードを通じた東洋との交易を独占し、新しい航路を確保すること

3. 教会による免許符（贖宥状）の販売に抗議し、聖書の教えに基づく信仰を確立すること

4. イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと
- 問3 奈良時代の日本に、西方のペルシアやインドなどの影響を受けた文化や工芸品がもたらされた背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 勘合貿易の開始によって、明の文化が琉球王国を経由して平城京に運ばれ、正倉院のような建築物に収められるようになった。

2. 朝鮮半島での白村江の戦いに勝利した際、大陸から多くの技術者や文化人が日本に渡来し、西方の高度な工芸技術を伝えた。

3. 倭の五王が中国の南朝へ使いを送ったことで、東南アジアの島々を経由する「海の道」の貿易が活発になり、工芸品が伝わった。

4. 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。
- 問4 7世紀頃の世界情勢において、大国であるビザンツ帝国とササン朝が長年対立した結果、従来の交易路が避けられるようになりました。これに代わる新しい中継貿易のルートとして繁栄し、ムハンマドが活動を始めたアラビア半島の都市はどこですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. メッカ

2. エルサレム

3. バグダード

4. ローマ
- 問5 紀元前1600年ごろに成立した中国の殷の都の跡からは、亀の甲羅や動物の骨に鋭い線で刻まれた原始的な文字が数多く出土しています。この文字が使用された主な目的として正しいものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 民衆に対して国家の法律や道徳を広く周知するための布告文

2. 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録

3. 周辺諸国との交易を行う際の品目や数量を管理するための事務処理

4. 支配者の功績を後世に伝えるために青銅器の表面に鑄込むための装飾
- 問6 円形闘技場（コロッセウム）に代表される大規模な石造建築物が造られた古代ローマ帝国では、キリスト教に対する扱いが時代とともに大きく変化しました。その経緯を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
1. 高度な天文学や数字の知識を持つキリスト教徒を優遇し、建国初期から公認していた

2. 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった

3. ギリシャの民主政治の影響を受け、建国時から一貫してキリスト教を国教としていた

4. 建国当初からキリスト教を保護し、シルクロードを通じて東アジアへ広めた
- 問7 7世紀に成立したイスラム教の教えや特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. シャカ（釈迦）がインドで修行の末に悟りを開き、生老病死などの苦しみから逃れる道を説いている。

2. 孔子が戦乱の世を収めるために、家族の道德である「仁」や社会の決まりである「礼」を説いている。

3. パレスチナでイエスが説き始め、すべての人間を愛する「隣人愛」と神による救済を強調している。

4. 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。
- 問8 チグリス川とユーフラテス川の流域で成立した古代文明において、粘土板に刻んで使用されていた文字を何といいますか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 象形文字（ヒエログリフ）

2. インダス文字

3. 楔形文字

4. 甲骨文字
- 問9 アジアに位置する二つの文明について、南アジアのインダス川流域で栄えた文明と、東アジアの黄河・長江流域で栄えた文明における、それぞれの特徴的な遺物や記述の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
1. インダス川流域ではくさび形文字を記した粘土板が、黄河・長江流域ではハムラビ法典を記した石柱が見られる。

2. インダス川流域では太陽暦に基づいた農事暦が、黄河・長江流域ではインダス文字を用いた印章が見られる。

3. インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。

4. インダス川流域ではパピルスに記された死者の書が、黄河・長江流域では青銅器を用いた仏像が見られる。
- 問10 漢の時代に行われた対外政策と、その影響について述べた文として正しいものはどれか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 西方への交易路であるシルクロードが開かれ、インドから仏教が伝来した。

2. 貨幣や重さの単位を統一し、中央アジアの諸国と共通の経済圏を構築した。

3. 文字を甲骨文字に統一することで、周辺諸国との外交交渉を有利に進めた。

4. 周辺諸国との戦いに備え、初めて万里の長城を築き、防衛体制を固めた。
- 問11 西暦1世紀、日本では倭の奴国の王が中国の漢（後漢）から金印を授かったとされる時期において、地中海を囲む広大な領土を支配していたローマ帝国の様子として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. アテネなどのポリス（都市国家）を中心に、市民が政治に参加する民主政治が最も盛んに行われた。

2. 広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。

3. メソポタミアにおいて、粘土板に商取引の記録を残すための楔形文字が発明され、高度な文明が築かれた。

4. 古代ギリシャ・ローマの文化を復興させようとするルネサンスの動きが広まり、レオナルド・ダ・ヴィンチらが活躍した。
- 問12 古代ギリシャの歴史家ヘロドトスが「エジプトはナイルのたまもの」という言葉を残したように、ナイル川はエジプト文明の発展に不可欠な存在でした。ナイル川が農業の基盤として果たした役割について、最も適切な説明を選んでください。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 川の水の塩分濃度が高かったため、周辺の土地で塩の採取が盛んになり、交易の資金源となった。

2. 川の流れが非常に急であったため、大規模な水車を設置して灌漑施設を動かす動力源となった。

3. 一年中雨が多いため、川の水位が常に一定に保たれ、二期作や三期作が可能になった。

4. 定期的に氾濫することで、上流から農業に適した肥沃な土を運び、土地を豊かにした。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。	メソポタミアは周囲に遮るものがない開かれた地形で、多くの民族が絶えず侵入・交代する地域でした。異なる文化や習慣を持つ人々を一箇所にまとめて統治するためには、共通のルールを文章化（成文化）し、王の権威のもとで統一的な裁判を行う必要がありました。これにより、社会の秩序を保ち、国家としてのまとまりを強化することに成功しました。他の選択肢は、ギリシャの民主政、エジプト文明、インダス文明の特徴が混ざっています。
問2	答え 4 イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと	十字軍はローマ教皇の呼びかけに呼応したヨーロッパ諸国の王や貴族によって組織されました。主な目的はイスラム教勢力から聖地エルサレムを奪還することでしたが、遠征の過程で地中海東岸への進出や商業的利益の確保といった側面も持つようになり、西ヨーロッパ社会が外の世界へと拡大する契機となりました。
問3	答え 4 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。	奈良時代、日本は唐の進んだ律令制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐の都である長安は、シルクロードを通じて世界各地から人や物が集まる国際都市でした。そこで育まれた国際的な文化（唐文化）が、遣唐使によって日本に直接もたらされたため、正倉院に代表されるような西方の香り漂う工芸品が日本に残ることとなりました。他の選択肢にある「倭の五王」は古墳時代、「勘合貿易」は室町時代、「白村江の戦い」は日本が敗北した出来事であり、時代背景や事実関係が異なります。
問4	答え 1 メッカ	当時のビザンツ帝国とササン朝の戦争を避けるため、商人はアラビア半島を経由するルートを多用するようになりました。その中継地点として繁栄したメッカは、イスラム教の創始者ムハンマドの出身地であり、現在もイスラム教の最も重要な聖地とされています。
問5	答え 2 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録	殷（商）の時代、王は神意を問う「占い」によって、戦争の成否や収穫の見通しなどの国政を決定していました。亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加え、生じたひび割れの形によって吉凶を判断し、その結果を刻みつけたものが甲骨文字です。これは現在私たちが使用している漢字の直接の祖先にあたります。
問6	答え 2 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった	ローマ帝国は初期において、多神教の立場から皇帝崇拝を拒むキリスト教を「国家に反するもの」として処刑などの迫害を行いました。しかし、4世紀初めにコンスタンティヌス帝が信仰を認め（公認）、その後、帝国の分裂を防ぎ統治の正当性を支える基盤とするために、4世紀末には唯一の公式な宗教（国教）として定められました。シルクロードや民主政治などは、ローマ帝国のキリスト教政策とは異なる背景を持つ用語です。
問7	答え 4 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。	イスラム教はムハンマドによって創始され、神の前での平等を説きました。また、信仰の告白、礼拝、喜捨、断食、巡礼という「五行」に代表されるように、生活と宗教が密接に結びついているのが特徴です。他の選択肢は、順にキリスト教、仏教、儒教の説明です。
問8	答え 3 楔形文字	この地域では、湿った粘土の板に葦などの茎を押し当てて文字を刻んでいました。その形状が「くさび」に似ていたことから楔形文字と呼ばれます。亀の甲羅や牛の骨に刻まれたのは中国文明の甲骨文字、ナイル川流域で使われたのはエジプト文明の象形文字です。
問9	答え 3 インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。	インダス文明は、計画的に整備された都市遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパ、未解読のインダス文字が刻まれた印章などが特徴です。一方、中国文明（黄河文明など）では、漢字の原型となった甲骨文字や、高度な技術で作られた青銅器が特徴的です。
問10	答え 1 西方への交易路であるシルクロードが開かれ、インドから仏教が伝来した。	漢（前漢）の武帝の時代に、西域へ張騫が派遣されたことをきっかけとして、西方との交易路であるシルクロード（絹の道）が整いました。この道を通じて、中国の絹が西方へ運ばれる一方で、インドからは仏教が伝わるなど、東西の文化交流が活発に行われました。
問11	答え 2 広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。	西暦1世紀頃のローマ帝国は「パクス・ロマーナ（ローマの平和）」と呼ばれる最盛期にありました。広大な帝国全域に張り巡らされた「ローマの道」は軍隊の迅速な派遣を可能にし、都市部では高度な土木技術を用いて水道橋などの公共インフラが建設されました。メソポタミアの楔形文字やギリシャの民主政治は紀元前の出来事であり、ルネサンスは14世紀以降の出来事であるため、時期が一致しません。
問12	答え 4 定期的に氾濫することで、上流から農業に適した肥沃な土を運び、土地を豊かにした。	ナイル川は毎年決まった時期に氾濫を繰り返しました。この氾濫によって上流から栄養分を豊富に含んだ土砂（肥沃な土）が下流へと運ばれ、乾燥地帯であるエジプトでも安定した農業を行うことが可能になりました。この豊かな農業生産力が、巨大なピラミッドの建設や国家の形成を支える基盤となりました。